



図3【8】三田-広橋(昭和44編)

昭和44年の地図で川下川ダムもない。福知山線も付け替え前の状態である。元のままなら土砂崩壊で長期間不通になったことだろう。道場・生瀬間で小規模な土砂崩れ跡が多数見られた。



土砂崩落現場2015年3月31日

右岸を走る福知山線廃線跡沿いの斜面崩壊し昨年工事が始まったが、中断したのか、終わったのか分からない状態。川幅が狭くなったところで大規模崩落が発生すると堰き止められそう。



2013年10月

右の写真とほぼ同一地点からの写真。橋脚前の飛び出た岩と左岸崖地下の部分が掘削浚渫された模様。



2015年3月31日

昨年の洪水で道路水防したため河床掘削していると見張りの人が教えてくれた。復旧工事とは思えない。



2015年3月31日

富士チタンの廃棄物集積場は、車窓からも、新名神からも見通せるようになったからか、山土で覆うような工事が行われていた。臭いもの隠しの問題先送りであれば良いが。



2015年3月31日

18号台風の洪水で崩壊した護岸復旧工事が進められていた。工事現場下流に川を横断するようにオイルフェンスが張られていたが、武田尾付近でも笹濁り状態だった。